



Gluegent Flow マニュアル
アーカイブバックアップツール
(管理者向け)



SONG OF CLOUD





目次

1. はじめに	2
2. Gluegent Flow アーカイブバックアップツールの概要	2
3. Gluegent Flow アーカイブバックアップツールの機能	3
3.1. 準備	3
3.2. 実行する	3
3.3. ダウンロードファイルの保存先	4
3.4. ログ出力	4
3.5. ログ出力場所の設定	4
3.6. 設定ファイル	5
3.7. よくあるご質問	5

1. はじめに

本書は Gluegent Flow の管理者向け操作手順を説明しており、G Suite の操作手順および Gluegent Flow の一般利用者向け操作手順の説明は含んでおりません。

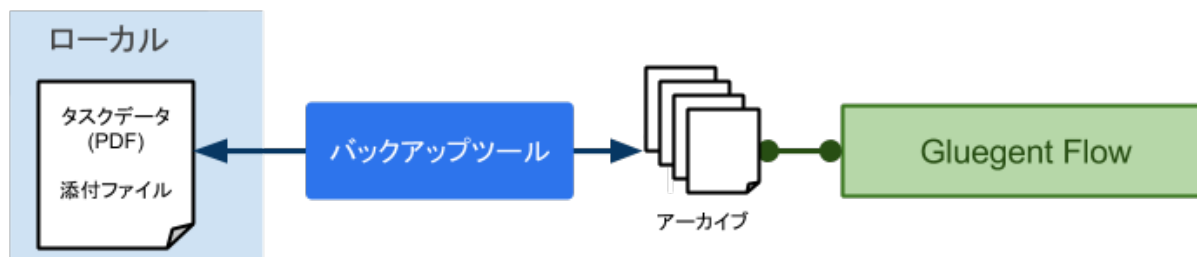
本書は 2019 年 1 月 8 日時点の情報を元に作成しているため、実際の画面や仕様と異なる場合があります。

※注意※

- アーカイブバックアップツールは Gluegent Flow のオプション機能として提供しております。ご利用いただくには別途お申し込みが必要です。
- 申請データに添付したファイルは本オプションお申し込み後のものからダウンロードいただけます。
- この機能は Gluegent Flow for SB Edition ではご利用いただけません。

2. Gluegent Flow アーカイブバックアップツールの概要

Gluegent Flow ではアーカイブ機能でアーカイブされたタスク情報データ、添付ファイルをローカルのマシンにダウンロードするツールを提供しております。



Gluegent Flow のアーカイブ機能

Gluegent Flow は以下の様な機能でタスクデータをアーカイブします。

- タスクを処理するタイミングで、フォーム内容、履歴を保存
- フォームに添付ファイルがあった場合、添付ファイルを保存

Gluegent Flow アーカイブバックアップツールはアーカイブ内にあるタスクデータと添付ファイルをローカルにダウンロードするためのツールです。

3. Gluegent Flow アーカイブバックアップツールの機能

Gluegent Flow バックアップツールでは以下の機能を提供します。

- アーカイブ内の文書で保存されているタスクデータを PDF 形式でダウンロード
- アーカイブ内に保存されている添付ファイルをダウンロード

※Gluegent Flow バックアップツールを実行するには、Java Runtime Environment(JRE)が必要です。

3.1. 準備

Gluegent Flow アーカイブバックアップツールのご利用は別途お申し込みが必要です。弊社営業担当者までご連絡ください。ご利用をお申込みいただいてから、7 営業日以内にアーカイブバックアップツールをお送りします。

3.2. 実行する

お送りしたバックアップツールの bin フォルダにある main.bat(Windows 用)、または main(Unix 用)ファイルにて実行します。シェルスクリプトによる実行も可能です。その際は sh main で実行してください。¹

1 回の実行で、タスクデータ、添付ファイルがすべて²ダウンロードされます。次回実行時には 1 回目の実行以降に新規作成・更新のあったタスクデータ・添付ファイルの差分のみがダウンロードされます。

※main.bat、main ファイルは移動しないでください。

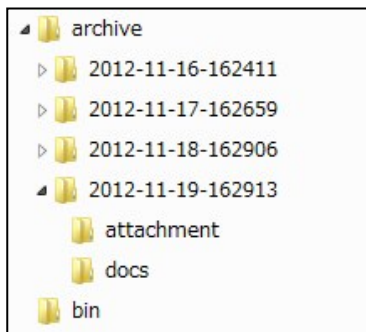
¹ バックアップツールを実行するためには Java のインストールが必要です。<https://www.java.com> にアクセスし、インストールを行ってください。

² ダウンロード対象期間を設定した場合はその期間に該当するもののみダウンロードします。

3.3. ダウンロードファイルの保存先

ダウンロードを実行すると、日付・時刻でフォルダが作成されます。作成されたフォルダ内に更に PDF ファイルと添付ファイル用のフォルダが作成され、その中に保存されます。

- attachment
添付ファイルが保存されます。
- docs
PDF ファイルが保存されます。



※ダウンロード対象のファイルが 1 件もなかった場合も、上記フォルダは作成されます。

3.4. ログ出力

ログには以下の内容を出力します。

- ダウンロードしたタスクデータ名、添付ファイル名
- 保存したファイル名
- エラー内容(エラー発生時のみ)

3.5. ログ出力場所の設定

ログの出力先はツールのある場所に log フォルダを作成し、そこへ出力します。

出力先を変更したい場合は、config フォルダの logback.xml の対象箇所を修正してください。

- ログファイル出力先
15 行目 : <file>{ファイルパス}</file>
- サイズが大きくなったログファイルの退避先³
18 行目 : <FileNamePattern>{ファイルパス}</FileNamePattern>

※設定を変更する場合は、logback.xml をバックアップした上で編集してください。

³ ログファイルのサイズが 200MB を超えると、新しいログファイルに切り替わります。古いログファイルはバックアップされません。

3.6. 設定ファイル

config フォルダに settings.properties があります。このファイルの内容は以下のとおりです。

プロパティ名	詳細
account(変更不可)	ダウンロードに使用するアカウントです。
docsFolderId(変更不可)	タスクデータが保存されているアーカイブの ID を設定します。
attachmentFolderId(変更不可)	添付ファイルが保存されているアーカイブの ID を設定します。
saveFolderPath	ダウンロードしたファイルを保存する場所を設定します。設定値が未入力の場合は、ツールのある場所に「archive」というフォルダを作成し、保存します。
retry	ダウンロード処理がエラーになった場合、再実行する回数を設定します。設定値が未入力の場合は 20 回実行します。
queryStartDate queryEndDate	作成されたアーカイブのうちダウンロード対象となるファイルを作成日で指定します。例えば、queryStartDate=2014/07/01、queryEndDate=2014/07/31 と入力すると 2014/07/01 から 2014/07/31 に作成されたファイルをダウンロードします。設定値が未入力の場合はすべてのファイルがダウンロード対象となります。

3.7. よくあるご質問

Q. ツールを連続して実行すると、どうなりますか？

A. ツールを実行すると日付・時刻のフォルダが作成され、その中にファイルがダウンロードされます。もう一度ツールを実行すると新しいフォルダが作成され、その中にファイルがダウンロードされます。2 回目の実行でダウンロードされるのは 1 回目実行してから 2 回目実行するまでの申請データ分だけです。(設定ファイルで[queryStartDate][queryEndDate]を設定している時はその期間の分のみダウンロードされます)

Q. 複数の PC でツールを実行できますか。

A. ツールは端末間でダウンロード有無を調整していません。そのため、別々の PC でダウンロードしても同じファイルがそれぞれダウンロードされます。

Q. 一度ダウンロードしたデータは、サーバー側で消えてしまいますか？

A. ダウンロードしてもデータは消えません。

Q. 一度ダウンロードしたデータは、もう一度ダウンロードできますか。

A. 一度ダウンロードされたファイルは再度ダウンロードしない様になっていますが、archive フォルダ内のフォルダ、ファイルを削除すると、再度ダウンロードできます。



Gluegent Flow マニュアル

2019年1月8日
株式会社グルージェント

※本書にて記述した製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。
